

活 動 記 録 簿

議員名 畑中 譲

年 月 日	令和4年 8月 5日		
標 題	友議号 2022. 8 V o l . 21		
相 手 方	市民		
配布部数等	10,000部(両面)印刷、10,000部配布		
目的、内容、 結 果 等	<p>市政報告書を作成し、市民に周知を図るとともに、意見・要望等を聴取する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 阪南市における多様な教育カリキュラムについて ・ 総務省への要望活動について(特別地方交付税) ・ 子育て拠点整備の今後の課題について 		
活動に要した 経 費	行 先	利用交通機関	利用区間
			金 額
			円
			円
			円
			円
			円
	経費内容	金額	内 訳
	制作・印刷費	80,470円	内訳：10,000部(A4両面)
	配布委託料	63,510円	内訳：
	円	内訳：	
	円	内訳：	
	円	内訳：	
合 計	143,980円	使途項目()	
備 考	領収書、請求書、市政報告書		

友譲号

Yujo-Go!

2022.8
Vol.21

阪南市議会議員

畑中 譲ゆずる 活動報告

多様な教育カリキュラム

子どもたちに『生き抜く力』を育むために

急激に変化していく社会において、豊かな人間性、正義感や公正さを重んじる心、自らを律しつつ他人と強調しつつ思いやる心、そして人権を尊重する心など、こうした心を子どもたちに培うことは、どこの国の教育においても重要であります。加えて、将来予測がなかなか明確につかない先行き不透明な社会にあって、その時代の状況を踏まえつつ、考えたり判断する力がより一層重要となっています。

いかに社会が変化しようとして自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、そして行動し、より良く問題を解決していく資質や能力を築き上げていく力が『生き抜く力』の要素であると考えます。

子どもたちが、現在社会を生き抜くためには、国語・算数・理科・社会・英語と重要であることはもちろんのこと、5教科は数値で計れ「目に見える学力」であります。「目に見えない学力」を伸ばしていくことこそが、現在の厳しい社会の環境下においては求められています。倫理観を養うために最も重要なのが「道徳」です。すでに阪南消防署と西鳥取小学校が連携し、社会の授業と関連づけて「道徳」を取り入れた

防災教育に取り組んでいます。コロナ禍の前に実施した阪南市民病院主催の「病院体験!アンビリバボー」なども、子どもたちのキャリア教育に寄与しております。その他にも、主権者教育、租税教育、消費者教育等、こうした目に見えない能力の向上のため、そして何よりも『生き抜く力』を育むための教育が必要と考えます。本市の人口減少が進むなか、いまこそ、教育委員会を筆頭に市内各関係機関や団体が

一致団結して、阪南市の子どもたちが現在社会に対し、順応力や適応力、そして応用力を実践的に使えるようになれば、大変魅力ある市になると考えます。その結果として、阪南市にとっても明るい未来が開けるのではないかと私は思います。



令和4年 第2回定例会

6月8日、定例会(本会議)が16日間の会期で開議されました。補正予算が主な案件でしたが、阪南市議会において、今まで補正予算に関しては、各所管に分かれて審議していましたが、各所管に関わらず、より全体の審議が出来るよう予算常任委員会(7人以下)が設置されることになり、



一年を通じて予算に対する案件はすべて予算審査常任委員会で審査されることになりました。

私は、委員長に任命されたため、次の改選まで委員会を取り仕切ることとなりました。

また、本定例会では私の個人質問は、次世代へつなぐとし「企業誘致対策について」一般質問を行いました。

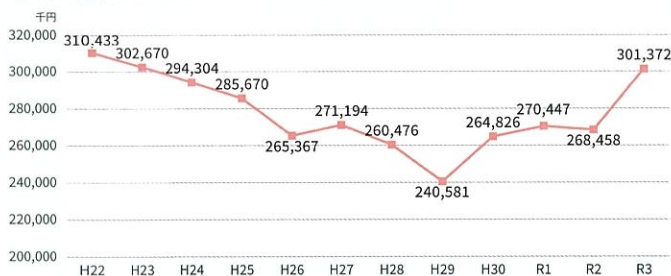
阪南市が今後、自主財源の確保をするため、どうした施策を推し進めるのが良いのか、次回の友譲号で持論を掲載したいと思います。

特別地方交付税 要望活動

私は、昨年9月の選挙でも公約として訴えてきましたが、財政の厳しい阪南市にとって財源確保が最重要課題であります。とはいうものの阪南市は自主財源も少なく新たな財源を生み出すような具体的な施策もありません。そうしたことから本市が自由に使える財源、特別地方交付税の確保が必要不可欠であります。

令和3年度も総務省へ要望活動を行い、田畑総務副大臣には面談のうえ、阪南市のおかれた厳しい現状を示し、より一層の支援を要望いたしました。

■特別交付税額の推移(令和3年度時点)



上記グラフ、特別地方交付税の推移のとおり、平成29年度2億4,058万1千円まで減少しましたが、その後、要望活動の積み重ねにより令和3年度には3億137万2千円確保することが出来ました。阪南市が少しでも財源の確保が出来ればとの思いで日々活動しております。市を良くするための活動は、各政党によって、また各議員によっても方法や考え方は異なります。先日、来阪された田畑総務副大臣とも意見交換をさせていただき、コロナ感染症対策地方創生臨時交付金についても要望してきました。

阪南市の現状を考慮すれば、こうした地道な活動が大変重要であり、私たち自民党所属議員の実績でもあり、そして私の公約でもあります。市民のみなさまに耳ざわりの良いことばかり言っても阪南市は何も変わりません。

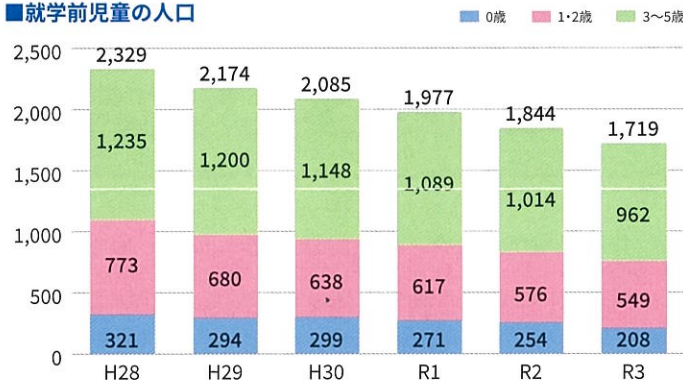


子育て拠点整備 特別委員会

第2回定例会での付託案件はなかったのですが、子育て拠点再構築について現状と進捗状況について担当所管より説明がありました。

少子化が急激に進むなか、就学前児童数の推移、親御さんが求める就園先の推移が下記グラフのようになっております。

■就学前児童の人口



■就園先(公私立・施設類型別)



以上の推移を考慮したうえで、今後の阪南市にとって身の丈に合った施策、そして、民間施設とのバランスを考えた再構築が求められます。財政が厳しい本市にとって少子化は今始まったわけではなく、上記グラフの推移は既に分かっていたことであります。その現状を本市の財源確保と私立認定こども園の需要を重ね合わせると、今後の再構築は誰が考えても答えは出てくると思います。

あれもこれも市民のみなさまに納得のいく施策はないと考えます。

私の質問に対し、再構築の必要性は認めましたが、本市が子育て世代の呼び込みに注力するのであれば、水野市長には、可及的速やかな決断が求められます。

大切にしますあなたの声を

小さなことから一つひとつ頑張ります。
皆さまの声をお聞かせください。

発行

畑中 讓 市政事務所

〒599-0204 大阪府阪南市鳥取223-9

TEL 072-471-0626

活 動 記 録 簿

議員名 畑中 譲

年 月 日	令和4年12月17日			
標 題	友議号 2022. 12 Vol. 22			
相 手 方	市民			
配布部数等	10,000部(両面)印刷、10,000部配布			
目的、内容、結果等	<p>市政報告書を作成し、市民に周知を図るとともに、意見・要望等を聴取する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次世代へつなぐ「自主財源」の確保について ・泉南清掃事務組合行政視察 ・大阪府後期高齢者医療広域連合議会臨時会 			
活動に要した経費	行 先	利用交通機関	利用区間	金 額
				円
				円
				円
				円
				円
				円
	経費内容	金額	内 訳	
	制作・印刷費	81,130円	内訳：5000部(A4両面)	
	配布料	62,269円	内訳：876通	
		円	内訳：	
		円	内訳：	
	円	内訳：		
合 計	143,399円	使途項目 ()		
備 考	領収書、請求書、市政報告書			

友譲号

Yujo-Go!

2022.12
Vol.22

阪南市議会議員

畑中 譲 ゆる 活動報告

企業誘致

次世代へつなぐ「自主財源の確保」

財政運営が厳しい中、企業誘致を進め、地域経済の活性化を目指し雇用を創出したり、移住定住の促進により税収を確保することは、他の自治体もあの手この手で取り組んでいます。

わが阪南市に隣近接の泉佐野市、田尻町、泉南市では、泉州沖に建設された関西国際空港をほぼ均等に有しており、その固定資産税をはじめとした税収や、泉州沖の海上埋め立てにより生まれた「りんくうタウン」への企業誘致により、雇用の創出はもとより、法人税・固定資産税をはじめとした税収の確保が図られ、恒久的に阪南市より安定した財政運営が可能となっております。

一方、阪南市では、丘陵地の開発によりベッドタウンとして人口を増やしてきた経過がありますが、自主財源が乏しいえ少子高齢化が急速に進み、今後どのようなビジョンをもって市政運営を展開していくのか、次世代へつなぐためにも、何らかの対策を早急に取り組まなければなりません、具体的な施策は講じられませんでした。

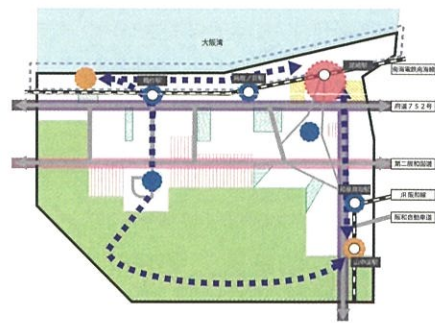
阪南市の発展のためにも、市民のみなさまのためのより良い施策を実行するためにも、自主財源の確保が何よりも大切であります。近年、南海トラフ巨大地震予測の影響もあり、阪南市の海上から離れた山手地域に進出しようとする

企業の引き合いも増えてきています。そうした視点に立って関西国際空港の恩恵を阪南市にも呼び込まなければなりません。

企業誘致により、職住近接で暮らしやすい環境整備が必要であると私自身、市に対し企業誘致を可能にするための土地利用の見直しを、以前から求めてきました。そしてその結果、今回の総合計画に見直しがあり、企業誘致のための土地利用にかかる基本方針が盛り込まれました。阪南市の次世代のためにも、自主財源を生むための施策が動き始めました。



新しい土地利用にかかる基本方針図
ゾーン・拠点・連携軸の設定図



凡例	
●	中心拠点
●	地区拠点
●	緑地ゾーン
■	環境に配慮された産業誘致ゾーン
■	市街地誘導ゾーン
■	森林ゾーン
■	海辺ゾーン
—	生活広域軸
—	産業広域軸
—	観光連携軸

令和4年 第1回臨時会 「役選により議会の新構成が決定」

10月18日、2日間の会期で臨時会が開催されました。主な案件として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した補正予算を全会一致で可決。その他、議会改選に伴い議会選挙ならびに議会選任が行われました。(阪南市議会ホームページ及び市議会

だより参照)

私の三期目二年目の主な役職は、「総務事業常任委員会委員長」に選任されました。今までの経験を活かし市民のみなさまの負託に応えられるよう頑張ります。

草津市立クリーンセンター 行政視察

泉南清掃事務組合では、令和12年に新炉竣工を目指していることから、同じ現地建替えで新設された草津市立クリーンセンターへ行政視察を行いました。



『施設概要』

- 延床面積 約15,290㎡
- 構造 地上6階 地下1階
- 工期 自)平成27年3月
至)平成30年3月
- 建設費 10,795,680,000円



採用された事業方式はストーカー燃焼方式(発電量大きい)を採用。排熱ボイラーから発生する高温高圧蒸気をすべてタービンに送り発電、施設内の電力をすべて賄い余剰分は売電しているとのことで、

○年間発電量は20,315Mwh(この内、売電量14,509Mwh、売電収入180,451千円)

その他、15年間の長期包括委託で運営、ゴミの減量への啓発や環境学習への取り組みについてもご教授いただきました。

今回の視察を参考にしながら、泉南清掃新炉建設に取り組みたいと思います。

大阪府後期高齢者 医療広域連合議会

令和4年7月27日、阪南市議会から厚生文教常任委員会委員長である私が広域連合議会の臨時会に出席しました。

主な案件は、補正予算ならびに職員の育児休業に関する条例の一部を改正する条例でした。次回は、11月21日に11月定例会が開催され令和3年度決算の認定などが審議されます。



阪南市における 財政状況

令和3年2月に財政非常事態宣言を発出した阪南市。トップダウンによる既存事業の大きな見直しはないものの、今後15年にわたる職員数を削減することにより行財政構造改革を進めつつ市政運営を行う計画となっています。

しかし、市民や企業による寄付金や、私たち自民党所属議員が精力的に取り組んでいる国からの支援、そしてコロナ禍の中、国からのコロナウィルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用や、コロナ禍の影響もあり過度な診療控えの結果、医療費が抑えられたこともあり、財政調整基金も約8億7千万円(令和4年11月現在)にまで持ち直しております。

大切にしますあなたの声を

小さなことから一つひとつ頑張ります。
皆さまの声をお聞かせください。

発行

畑中 讓 市政事務所

〒599-0204 大阪府阪南市鳥取223-9

TEL 072-471-0626